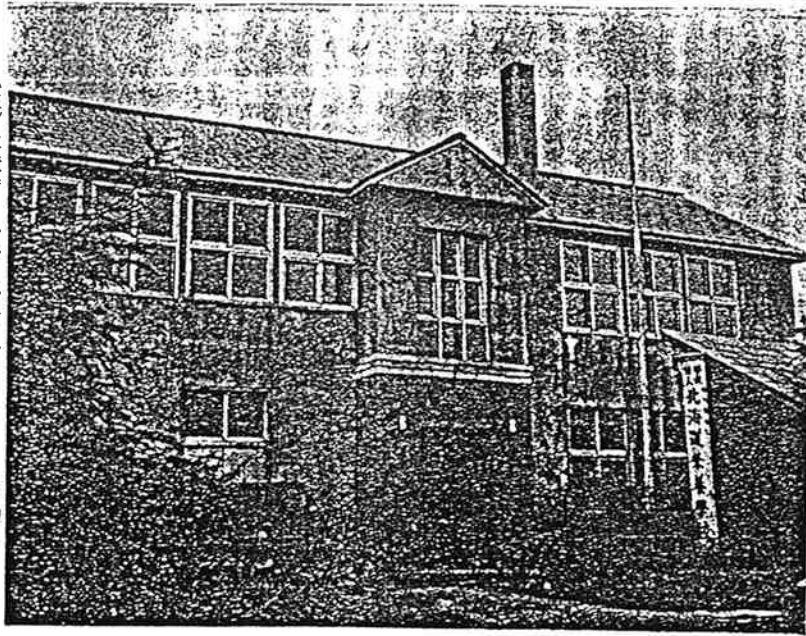


會  
報  
第一号

北海道榮養学校同窓会  
事務局 札幌市南三条西七丁目  
〒② 一九五一番



(注)本校舎 札幌市北二十一条西六丁目 〒④五六五六番  
昭和二十九年十二月三日 竣工



学校校長  
同窓会顧問

同窓会の再発足を祝つて

鶴岡トシ

長い間の夢が実現した同窓会の再発足を心からお祝い申し上げます。

同窓会とは、学校を卒業して社会に出てからも学校とのつながりを持つものであり、一面社会的な意味も含まれた、一つの組織である訳ですから、この結成は意義あるものと私は喜び一杯でございます。

総会が昨年十一月二十日、本校に於て八十名の出席をみ、盛大且つ活潑な討議が進められ、私としても、生涯かくも感激に溢れた時はございませんでした。

社会に出てから、どんなに辛い事があつたらう。又苦しい事があつたらう。その幾多の辛苦に、若さと、力と、頭脳で切り抜き、榮養士として、又一人の人間として成長した姿を私は只々嬉しさといとほしさ一杯の心で見渡したのです。

学校も又厳しい現実立ち向い遠来の夢を持ち、計画に終らぬ様日々着実な努力を致しております。

一つに短大昇格の条件としての高校設立、又榮養士養成期間の延長等々。

榮養士の立場を社会的に確立せしめるためには学内の充実は勿論のこと、榮養士一人一人が実力を持つて世に訴える強い信念と自覚によつて成果を見るのではないだろうか？

榮養士という立場程、社会からの目も冷く注がれ、ある処では、あつてもなくともいふ存在だと云うまだ不認識極る無理解な処もあるようです。衣食住この三要素の中で最も女性にとつて重要なつながりのある「食」であり乍らこの目まぐるしい文明社会で、他のジャンルと比較する時何と違々としてその進展を見ないことか。それ程「食」と云う生活は根柢り強い不動性を宿しているのです。

この「食」にたづさわる私共の苦勞は反面云い知れぬ喜びを持つて取組む事が出来るとも云えるのではないだろうか？

同窓生の皆様苦しみの中にも喜びを見出す仕事をして下さい。それが目に見えぬ心の榮養になる事を信じております。

学校は皆様の里帰りと思つて同窓会には勿論、仕事で困つた時、失敗した時、又貴女方の独創的な白慢料理を御披露して下さい。学校は卒業生皆業の研究の場でもあるのです。又後輩のために職場の貴重な体験談を学生にきかせて下さい。そうして皆様と学校は一つの体の血の様に流れ、健康で大きなかたまりとなつて発展する様折つております。

昨年はあらゆる面で火車の様な毎日でした。それでも榮養改善の一環として食生活展に参加し大きな成果を得、又生徒会の活躍もめざましくクリスマス、パーティー等開き父兄、先生を御招待しそのしつかりした動きを見せてくれました。

良き島に良き作物の稔る如く良き学園に良き榮養士を送り出す様地道な歩みを誓うと共に、皆様の絶大な御支援と御協力をお願い致します。最後に同窓会により良い発展と皆様の御健康と御多幸を念じております。

# 経過報告と御挨拶

同窓会長

金山美奈子

同窓生の皆様お元気で御活躍のこと、存じます。黄金の年とか云われる一九六〇年が皆様にとつても本当の意味で最良の年でありませう。皆様お祈り致します。

さて此の会誌第一号を出すに当りまして、一応その経過報告と同窓会からお願いを申し上げたいと思ひます。

実は私共同窓とは云い乍らこれ迄何等連りも持てず大変心もとなく感じたりもいたしました。

年の十一月二十日札幌にて全道榮養士会、榮養食糧学会が開催されました折同窓生諸師の上札を機会に北の新校舎にて第一回の総会を持つことが出来まして校長先生の御出席を頂き又約八十名の卒業生の御参加を得まして始めて各回期の同窓生、久し振りにお逢いする学友と話し尽きず大変なごやかな一ときを持つことが出来たわけでございます。これ迄は有名無実でした同窓会をなんとか盛立て行き度いと全員の強い希望により同窓生の親睦、就職の斡旋、学校の発展を計ることを主たる目的として種々規約の改正を致しました。又一年に一回は会報(誌)を発行してお互いの消息を知らせ合おうと計画しまして今こゝに遅ればせ乍ら「北海道榮養学校同窓会会報第一号」をお届けする運びになつた訳でございます。なんとこゝ迄の説明に長々と紙面をささぎまして一口に申し上げれば「同窓生の皆様もつとゞ母校を中心として

手を取り合いお互いの力に成り合い助け合つて参りまじよう」と言うことなのでございます。

尚改正致しました規約は下段に記載致しましたがまだ不備のものでございまして今年の第二期総会に於てさらに完全なものにしてまいり度いと思つておりますのでその点お含み下さいまして活潑な御意見をお寄せ下さる様お待ち致しております。

又総会の折各回期毎に役員を選出を頂きました処左の方々が役員として此の一年間お骨折り頂くことになりました。役員になられた方々は公私共々御繁忙のこと、存じますがよろしくお願い申し上げます。

尚私もその器ではございませぬが初代会長などお引受け下さるを得なく成り大変戸迷つておりますが、微力乍ら誠実をモットーに責任を果し度く存じております。

母校は全道でも一番歴史古く五百人近い卒業生の中には本道榮養改善の開拓的なお仕事を受けたれた方々も多くその成果は大いに認められてゐるわけですが、社会に出て切実に感じさせられるものは何んといつても母校或いは同窓会と云ふ強力なバックです。今回こうして切角希望新たに発足致しました私共のつどいを末永く守り育て、行き度いものと思ひます。では甚だ形式的な御挨拶にお祈りしましたが皆様の御健康をお祈りしつゝ次号再会を心待ちにペンを描きます。

# 北海道榮養学校同窓会規約

- 第一条 本同窓会は北海道榮養学校同窓会と称し、事務局を札幌市南三条西七丁目北海道榮養学校内に置く。
- 第二条 本同窓会は北海道榮養学校本科卒業生で組織する。
- 第三条 本同窓会は北海道榮養学校卒業生のお互いの親睦を図り、母校の充実、発展をはかるを目的とする。
- 第四条 本同窓会に左の役員をおく、役員任期は一年とする。
  - 一、会長 一名
  - 二、副会長 二名
  - 三、顧問 二名
  - 四、幹事 若干名
- 第五条 同窓会総会は年、一回とするが必要によつては臨時総会を設けることが出来る。
- 第六条 同窓生入会式は毎年三月卒業式後に行ふ。
- 第七条 本同窓会は同窓会誌(報)を年に一回発行する。
- 第八条 本同窓会入会費は一、〇〇〇円とし、入会と同時に納入する。
- 第九条 毎年本同窓会費として全同窓生より一〇〇円を徴収する。
- 第十条 本同窓会に支部会を設置することが出来る。
  - 一、支部長 一名
  - 二、副支部長 一名
- 第十一条 この規約は昭和三十四年十一月二十日より施行する。

# 昭和三十四年度 役員名簿

会長	金山美奈子(四回生)	副会長	向 英子(一回生)
幹事	中村照子(十二回生)	幹事	高橋矩子(十二回生)
卒業回期	氏 名	卒業回期	氏 名
一回生	向、橋本	九回生	青山、渡辺
二回生	宗藤、林	十回生	福垣
三回生	近藤、市村	十一回生	福田、鎌上
四回生	金山、北川	十二回生	中村、高橋
五回生	畑野、尾崎	十三回生	杉浦、砂田
六回生	市村、西岡	十四回生	亀尾、竹谷
七回生	長井	十五回生	坂本、青井、松野
八回生	串崎		

# お知らせ

- △お見舞▽  
鶴岡新太郎先生が永らく御病氣なさておられますので、窓同会からも心ばかりのお見舞を差し上げ度いと思ひます。皆様御了承下さい。
- △入会金、会費徴収について▽  
規約に載せてあります様に、本会に入会と同時に入会金一千元を徴収することになっております。又毎年会費百円をお納め頂き、会の運営を計り度いと思ひます。故よろしく御賛同下さい。
- △今年の総会開催予定▽  
第二期総会は本年十一月中旬開催の予定でございますので皆様多数万障お繰り合せの上御参加下さつて色々参考御意見を下さり下ささい。尚お子様連れ大歓迎致します。
- △同窓生名簿の整備▽  
会の再発足と同時に同窓生の名簿を是非整理したいのですが色々色々移動多々仲々皆様の消息をつかめず困つております。皆様方同期の方々の消息を一人でも多く事務局に御連絡下さい。
- △会報についての御感想▽  
此の会報又は同窓会の在り方について、お感じに成つた点はどしどし事務局宛お知らせ下さい。
- △では皆様ごきげんよう▽

家庭

職場

☆子供と共に

向 英子(一回生)

昨年、同窓会総会に出席した所、私が第一回の卒業生である為に、今度は第一回の会誌の原稿を御依頼を受けました。近況として、過ぐる日の栄養学校第一回生としての、あの当時の想い出を少しばかり筆走らせてみたいと思います。

たまたま新聞で札幌に新しい時代に、先がけて栄養学校が創設され、生徒募集をしている事を知り、私は希望に胸はずませて、入学した次第です。然し生徒と申しましたも全部で十人にも満たない数でした。そのメンバーはお互いが姉妹以上の親しさを感じ、社会に栄養士として勤めるという事より、良き家庭人となるために、牛乳やバターを主とした洋食や、季節向の栄養価の高い料理等を各グループ毎に、腕を競って持たせ、先生の御批判を頂いたり、栄養価について随分と熱心に研究し合つたものでした。鶴岡先生御夫妻が殆んどの授業を受持つて下され、理論は講師の方が見えて、朝八時半より二時頃まで、ノートと実習の連続で、本当によき勉強を重ね

近況お知らせ

ね、栄養料理の試食でみんながメキメキと太り出したり、大笑いした事もありました。

先生をはじめみんなで舞踏の方々にハイキングをして、清流の傍で野外炊飯をした事や、岩に登つて記念撮影をした事など忘れ得ぬ思い出です。今から十七年前ですから、鶴岡先生御夫妻もまだまだ、お若かくて本当にみんなが希望に満ちた日々を過ごして居りました。

今でも、安城さん、橋本さん、三田さん等と研究しあつたあの頃の事が、つい昨日の事のように思ひ出され、懐かしくなりません。三人の子供に「誰がお母さんのあとをついで栄養学校に入るの」ときくと、三人ともが「わたし」「わたし」と競つて手を上げます。女の子には矢張り私の通つてきた道を歩かせたい、等と思ひ、子供と共に生きがいを感じ、暮らして居ります。

(岩見沢三条八丁目 主婦)

☆学校給食から

北川幸子(四回生)

学校給食に職場を得てから早いものでもう十年にもなりました。ものたえに十年一日のごとくとか言いますが本当にそんな気が

いたします。本当にあつと思ふ間にすぎましたようです。

この職場は病院や工場などと違つてお子様相手の教育の一環云々と理くつだけはむつかしゆうございませうが、海山五百年の大人と違つてのびゆく子供供らは素直に学校給食に反応をみせてくれますからそれだけ仕度のし甲斐のあるところですよ。でもまだこの関係の職場に栄養士の数は少ないのです。

五回生の尾崎麗子さんが北海道学校給食の総総締め北海道教育庁にいらして色々指導してくれませうが(彼女は年は若くとも学校給食では私の先輩です)尾崎さんのお話では道内に学校給食関係栄養士は年々増えはいるが現在六十四名でその中教育委員会関係が十六名学校勤務が四十八名とのことでした。

この職場には古くは三回生の三輪崎久美子さん(旧岡野)、中村和四さん(旧津田)杉前孝子さん、四回生の山本京子さん(旧能島)や片山恵美さん(旧千葉)五回生の金井時子さん、太田喜代子さん(旧広瀬)六回の西岡幸子さん(旧大友)八回の山本和子さん(旧瀬波)島谷ミエさん(旧阿部)吉野栄子さん(旧小田)十回の七戸美恵子さん(阿部)十回の津田喜美子さん十一回の小川奎子さんがいらつしやいました。

これから益々増えてゆかねばならないところと思つています。現在札幌市の関係では、私の向いの席に五回生の五十嵐英子さん(旧郡司)十回生の稲垣文子さん、堀口ミツエさん、十一回の成田しげるさん(旧申崎)高野晴子さん、二回生の宗像敦子さん(旧上野)十六回の堀口智さん、中学校には

十一回の高橋矩子さんと合計十人がおりますが、皆元気で次の世代の健康教育の一役をになつて頑張つています。

(札幌市教育委員会保健体育課勤務)

☆病院給食を

担当して

亀尾繁子(十四回生)

会報一号を出すに当り原稿の穴うめを私にせよと仰る栄養士としても新米の私に致命ある程だから、會員もよくよく私底ののどろりとこんな点からも同窓生諸師の獲得に躍気ならざるを得ない。悪父をお許し願つて病院給食について、漫筆する。

私の勤務地は北海道も中央にかばする旭川の南方約七十軒に所在する富良野である。病床数二百二十床、職員数二百二十、の沿線唯一の総合病院。その故か病院は千客万来、大入り満員で、医局の先生方をはじめ看護婦さん、事務員さん、ひいては我々給食係一同がてんでて舞をする。社会現象からは病院が繁昌するなどと縁起でもない事だろが病院に勤務する者にとつては有難き俸せ。そこで大事なお客さまの患者さんにはサービスをしなければならぬ。

曰く「誠実」のサービスである。どんな些細な苦情に対しても白衣の裾を隠して(体重が有り過ぎるから)からませせて、病室へ飛んで行くなり、院内放送でお詫びをするなり、納得のいく方法で、諒解して貰う。勿論患者さんとの懇談会は、機会を作つて、苦情を聞き、かつ給食類の真意も

わかつて貰う。これは大仕事である。「叩けよさらば開かれん」で、患者さんの胸に飛び込んで初めて、新米栄養士の仕事に対する疑問もつけ、暗い厚い壁も開かれるのである。

この患者さんへのサービスを知らなかつた最初の年に失敗をして以来患者さんにはスマイル、スマイルである。栄養士としてのプライドは患者さんにはいらぬことと、むしろこの案は看護婦さん、医局の先生に投棄する。無理押しする(事も)ある。先生方に時々用いると効力がある。看護婦さんには少量でよい。看護婦さんにも主任、婦長級は副作用を起す事も有るから、処方に用心する。かくして苦境は切り抜けるが、栄養士としての技術と相半ばする程重要なものだ。人間的な魅力の問題がある。技術がよければ石部金子でもよいからというに左にあらす。勿誇技術がバアでヤワラカいばかりがとりえというのは問題外である。

若い事務の子を引き連れて夜の社会探訪もよし、又看護婦さん連中と連れだつて十勝岳、芦別岳にアタックするもよし、ダンスパーティのプランを立てるもよし、忘年会の余興幹事を買つて出るもよし、そんな一見愚にもつかない事で、仕事の摩擦が消えるから妙である。それに夢、夢、教養のため努力を怠つてはまずい。読書も音楽も、映画も、あらゆる事が栄養士として、人間として、女性として、社会人としての人格形成のために有るものと考へて娯楽視するのは良くないと思う。

これでやつと御指命の九〇〇字も責任が果せた。この迷文を読ま

☆四面え

せられた同窓生諸姉よ。この文の責は、無理強いに書かせた同窓会事務局にあると思し召して許されよ。

(富良野協会病院勤務)

### ☆保健所だより

村山ケイ子(五回生)

同窓生の皆様お元気で新春をお迎える事とおよろこび申し上げます。

さて私保健所業務につきましてより八年、日増に進む栄養学の歩みのうちに一体何をして来たのか……と栄養調査の際自家生産の魚と言はれびつくり、それがたつた一ツの蛋白源であり異国の雑魚であるのに驚いたのは昔のこと馬橋にゆられ雪ふかい農村を訪れてはどんなに経済と食生活改善と言ふ問題につき考えさせられて来たことでしょうか。

僅少の予算内で指導対象を掴むの苦勞を幾年、どうやら今では新年宴会の日に開拓部落の人達に呼出され講習の予約等地元の人達の自発的な申込みにより栄養改善業務を進めて行くことが出来るようになつて参りました。

栄養改善と一口に言つても「栄養指導の強化拡充することにより道民食生活の合理化と栄養の確保をはかる」等々立派な目的のもと配置されている私達保健所の栄養士であれば、その栄養改善と言うは易く行は難い大変なもので種々の困難な事にぶつかつて居る実状でございます。その他妊産婦、乳幼児の栄養指導病院、学校給食調理士関係と仕事は山積ひつきまじり居ります。が集団給食につきまじり居ります。が集団給食につきまじり居ります。が集団給食につきまじり居ります。

専門にがつしりかまえていて下さるので私としては安心しておまかせして居ると言ふよりは色々お教えを受けねばと思つて居ります。なお最近厚生省などでは高度の栄養士を育成するためと学業三ヶ年制を言つて居りますが事実私達はもつと学ばねばならぬ事があり今近の栄養士と言ふ枠内に止まる事なく、広く食品衛生の分野にまで活動して行かなくては、やがては行つまるのではないかと申す事を仕事を通し深く考へさせられて居ります。

では皆様の御活躍を期待しつゝ、ペンを置きます。

(江別保健所勤務)

### ☆食品メーカー栄養士活動

山田谷美津子(十四回生)  
横田 千恵子(十四回生)

月日の立つのは本当に早いもので、栄養学校卒業して二年間夢の栄に過ぎ去りました。私共の職場は各種団体を対象に料理講習会をするお仕事ですので、果して責任を持つて出来るかどうか大変心配でしたが先輩の方々の御指導によりどうにか軌道に乗り私共のペースで仕事が出来る様になりました。

何処に参りましても雪印と云つた看板を背負つて居る様なわけで総べての点で後指をさへれない様な責任ある仕事をしなければならぬと思つて居ります。当社の製品はバター、チーズ、スキム等の外食品関係約二七〇種類あつて居りますが、此の様に大会社に成りましたのも一般消費

者のおかけで、其の御礼の意味をふくめて、サービス本位に乳製品等の栄養及び使用法を皆様にお知らせしこれを通じて食生活の向上を計つて居ります。

当社では最初栄養士二名で実施いたして居りましたが北海道内全般に五つての講習会ですので現在では六名の栄養士でして居ります。

三名：料理講習会 一名：ホームサービスカー 一名：育児児相談 一名：事務

一ヶ月講習会数は一人当り十五回位で地方に出張しますと日程の関係で一日二回実施しており、その他栄養士の訪問を、懐しいクラスメートと話し合うのも仕事の上でプラスになる点が多い様です。精神的に重労働な点もありますが講習会のお料理が好評で主婦の方々に喜ばれ次の講習会を約策されたりするに疲れな忘れず仕事

の張合をしみじみ感じます。何時も頭をなやませますのは献立の作成です。経済的に栄養的に簡単でおいしく併も手近かな材料で無ければ一般主婦の方には受け入れられません。地方に寄りましては考慮して作成した献立でも材料が揃わず急に変更する事も度々です。

お料理の味については思つたより敏感で味付の難しさを痛感いたします。又料理の作り方も大切ですが、受講者の方は何かのヒントを(揚物の温度、利用など)与へる方が喜ばれる様です。

私共は食品メーカーとして、横のつながりを持つため、四社懇話会(エスビー食品、日清製粉、味の素、雪印)を昨年より持ち一ヶ月一度全員集合し、意見を交換し、楽しい一時を過して居ります。

職場の様子を思いつくまゝに申し並べましたが今後共皆様方には何かとお世話になる事と存じます。が私共も学校の名に恥じない様に頑張り度いと思つて居りますのでよろしくお願ひ申し上げます。

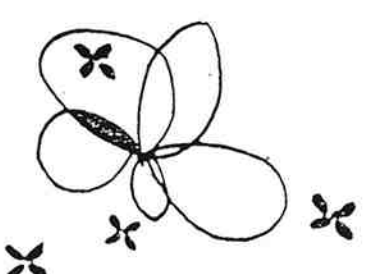
(雪印乳業札幌支店勤務)

### ☆学校だより

中村照子(十二回生)

昨年十二月二十八日生徒会主催で一足先に、Xマス、パーティーが開かれた。紙面で鮮明にお聞かせ出来ないのが残念である。一つ年をとつて矢張り目尻のシワが気になるが、これは年のせいばかりではない。あごがよじれる程爆笑させたパーティーの珍芸ではないかと思はれる。父兄及び先生のかくし芸の中には道あやまてりと思はせた程の美声の持主、歌つて踊つて大笑い。

会場は、本校第一教室、飾り付けは常日頃、盛り付けで練えられた感覚でシンメトリツカルな構成、舞台右手に一父兄から寄贈されたデラックスツリー、中央には校長先生デザインの手製のXマスケキ、テーブル上の献立は鶏肉の加役、御飯、三ツ葉と赤白半片の御吸、各種口取、デザートは密柑、林子、お菓子最近の話であるが、近藤先生(三期)一あんなに美味しいと思つていたいたジャバニスズープ生れてはじめて、それはその筈。鶴岡先直きくの仕事込み、橋本先生(一期)御指導のお吸物でした。



(北海道栄養学校勤務)

板がすの甘酒は、これ又大好評。さすがの校長も感激に転化してたゞ口元をきしむ事しきり生徒、父兄先生一体となつて明るく楽しい時間を持つ事が出来た事は、生徒の努力と校長先生の深い理解の結晶といつても過言ではないと思う。はじめて試したこの集いが一つのきつかけとなり、今後学園発展の重要な根源となる事を疑はない。

胡椒のきかない文章で終りそうだが最後にこの集いの感想としてたゞ単に一時の楽しい時を過し、それを思い出だけに終らず、あの人形劇、バレエ、民俗踊り替歌等の創作的な意欲があれば、学窓を巣立ち壁の多い社会に出てもそれを乗り越え、必ずや、栄養教育の一つの媒体として大いに応用し、食生活を改善する指導者になれる自信が充分にある事があらためて感じた以上目尻のシワが一本付にはいかふえたといつて嘆くわなのである。